



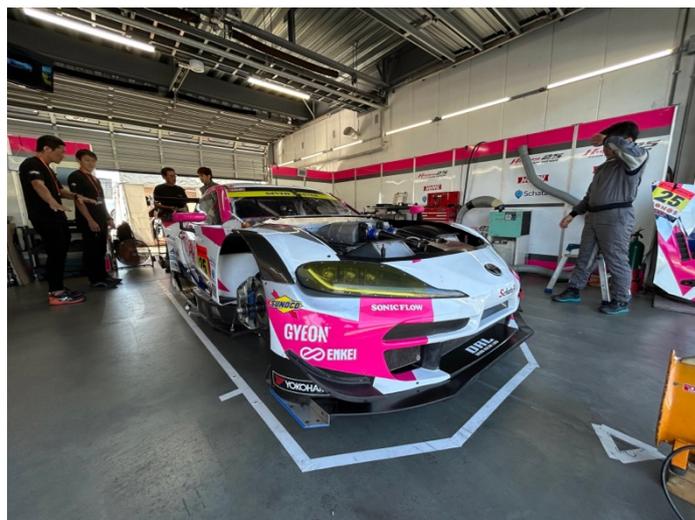
HOPPY team TSUCHIYA  
 レースレポート  
 2025 SUPER GT Rd.4 富士スピードウェイ

日時	2025年8月3日 予選・決勝	■車両名	HOPPY Schatz GR Supra GT
■場所	富士スピードウェイ	■カーNo.	25
■監督	土屋 武士	■ドライバー	松井 孝允
■チーム	HOPPY team TSUCHIYA	■リザルト	予選 20位／決勝 23位(GT300クラス)

## 初のスプリントフォーマットの2日目！思い切ったセッティング変更で挑む

2025シーズンのSUPER GTシリーズも折り返しの第4戦。初のスプリントフォーマットとなった大会の2日目を迎えた。初日の土曜は問題解決に向けて一つの方向性を見出したHOPPY Team TSUCHIYA。そのデータを元に日曜は大幅なセッティング変更を施し臨むことを武士監督ほかチームは選択した。あくまでも問題の根本解決のための大幅変更。今後の飛躍のために手を打ちつつ、目の前のレースを決して捨てず戦う。難しいオペレーションが求められる中でHOPPY Team TSUCHIYAのメンバーは奮闘した。

日曜日の朝も富士スピードウェイには前日同様の強い日差しがスタッフや観客に容赦なく降りそそぐ。そんな中チームスタッフはテキパキといつものように公式練習の準備を進める。昨日の佐藤公哉選手のフィードバックをもとにセッティングを変更して臨む。日曜日の担当ドライバーは松井孝允選手。公式練習を前に武士監督は「コースに行こう」とやはりGRスープラコーナーから公式練習を見ることにした。お馴染みの光景だが、富士スピードウェイのコースサイド、芝生のエリアにはテントやタープが立ち並び、猛暑ゆえに少しその数は例年より少ない印象だという。それでもファンの熱い視線は朝からドライバーとマシンに注がれていた。



### ▼公式練習 <GT300 26位 1分39秒142>

公式練習スタート。ピットロードの出口に最も近い位置に陣取るHOPPY Team TSUCHIYAのピンクが基調のマシンが真っ先に見えてくる。昨日はマシンの挙動が安定しなかったホピ子2だが今日はどうか。アウトラップのペースでは前日のようなバタバタとした挙動は見られない。徐々にペースを上げていっても、前日より随分安定しているように見える。武士監督も「昨日よりはだいぶ良いね」と手応えを感じた様子も表情は緩まなかった。ただ、安定した挙動を見せたものの、タイム的にはあまり改善しなかった公式練習。セッション後に武士監督、木野エンジニア、松井選手、佐藤選手の四人でトラックの中で長時間のミーティングが行われ、次の手を模索していた。



### ▼公式予選 <GT300 20位 1分38秒587>

迎えた公式予選。最初にタイムアタックを行った後はデータ取得のために極端なセット変更で臨むという方針に。目の前のレースを戦いつつ、この先のレースへの布石を打つオペレーションに挑む。公式予選スタート。松井選手の駆るマシンがやはり真っ先にコースイン。2週のウォームアップの後、4周目にタイムアタック。昨日までのタイムを一気に短縮する1分38秒587。苦しんだ中で少しだが結果が出た。この後すぐにピットインしてセッティング変更。データ取得も兼ねたセッティングでの走行ということもありタイ

ム更新はなく、セッション終了。しかし開幕からここ2戦、決勝グリッドは最後列と苦渋を飲んできたチームとしては、ほんの少しだけホッとできる20番グリッドを得た。

### ▼決勝リザルト<GT300クラス 23位>

日曜日の決勝は前日と違い、GT500との混走ではなく、GT300クラスのみでの戦いとなる珍しいフォーマットだ。午後には灰色がかった雲が太陽を覆い、日差し自体は弱まるがアスファルトの上の蒸し暑さは変わらない。華やかなスタート前の催しの後、午後2時20分、ペースカーに先導されたGT300のみの隊列がグリーンシグナルと同時に一気にスピードを上げる。ローリングスタートで50分間のレースが始まった。ターン1はアクシデントなく各車通過したように見えたオープニングラップだが、その後アクシデントが発生2台のマシンがダメージを負ってスロー走行を強いられている映像がモニターに映し出される。#25はその混乱に巻き込まれ二つポジションを下げた。接近戦の中、2周め、3周目と一つずつポジションを落とすも、その後ペースが安定。前の車をテール・トゥ・ノーズで追いかける松井選手。5周目にスバルBRZがいきなりスロウダウンしマシンを止める。これで23位にポジションを上げる。その後松井選手は終始、前の車から1秒以内でプレッシャーをかけた。しかしポジションアップは叶わぬまま、50分間のレースはチェッカー。苦しんだ週末も予選のタイム更新、レース中のペースには改善が見られたHOPPY Team TSUCHIYA。一つ一つ上を目指し戦いは続いていく。



に映し出される。#25はその混乱に巻き込まれ二つポジションを下げた。接近戦の中、2周め、3周目と一つずつポジションを落とすも、その後ペースが安定。前の車をテール・トゥ・ノーズで追いかける松井選手。5周目にスバルBRZがいきなりスロウダウンしマシンを止める。これで23位にポジションを上げる。その後松井選手は終始、前の車から1秒以内でプレッシャーをかけた。しかしポジションアップは叶わぬまま、50分間のレースはチェッカー。苦しんだ週末も予選のタイム更新、レース中のペースには改善が見られたHOPPY Team TSUCHIYA。一つ一つ上を目指し戦いは続いていく。

### ▼土屋武士監督コメント

「今季初めて予選20位。向上はしているが、20位を走るためにレースをやっているわけではないのでまだまだですが、ヒントは得られた。ドライで1レースやることができタイムとフィーリングは向上したものの、今般的な問題は解決していないのがタイヤからはっきり分かった。ホピ子には重大な欠陥があることが想定されると。まだそれがどこかというのは分からないが、次の鈴鹿まで短い時間だが、検証というか徹底的に全てを疑って、走って結果を出すと。仮説では通用しないので。開幕からスピードがないことには原因があったと。それが複数の要因が絡み合っていて、少しずつ解決してきていたが、根本原因がまだ一つ残っているようだ、というのが分かったことなんで、しっかり若い衆が頑張ってくれると思います。最後まで諦めずに前進していく。応援してくださる皆さんは、下位を走る姿を応援するのは辛いと思いますが、もうしばらくお待ちください。これからも頑張っています！」

### ▼松井孝允選手コメント

「(スプリントレースについて)新鮮な感覚。昨日は見るだけ、今日は独りで戦うという新しい試みで僕自身は楽しめた。もちろん結果は出なかった。そんな中で車の問題点、データとして取れたので、チームとしては次の鈴鹿までにしっかりと原因の洗い出しはしてもらえそうなので、次の鈴鹿も楽しみです、昨日の第1レースより進歩していたので、そこはポジティブかな、と。とはいえ一足飛びにはいかないの、一步一步やっていきたいと思います。次は通常のレースフォーマットに戻るの、予選Q2進出を目指して良いクルマを作って臨みたいです」

◎この度YouTubeチャンネルを開設しました！ぜひご覧ください、またチャンネル登録もお願いいたします。

URL [https://www.youtube.com/@tsuchiya\\_25](https://www.youtube.com/@tsuchiya_25)

【問い合わせ先】

つちやエンジニアリング合同会社

〒252-0822 神奈川県藤沢市葛原2507

TEL : 0466-49-5010 FAX : 0466-49-5011

担当 : 土屋・豊原